

2024年11月17日(日)
中国新聞SELECT掲載



私が協力隊で派遣された
ネパール。感想は「素晴らしい国」の一言に尽きる。
一体何がそんなに素晴らしいのかを説明しよう！

JICA
だより



ネパール
木花一さん(45)
山口市在住

私の赴任先はバクタプルにあるサノティミ技術専門学校の自動車整備学科だ。

人と人との近さに感動

整備の教員に最新の自動車き、期待と不安を胸に抱きシステムを教える業務と聞ながら赴くと、そこにはお



自動車整備学科の生徒たち。ニンジン堀りをして盛り上がった後の様子

そう、元々は「う意味」、ちゃんと飯食った車であつた物で、チャ(ネパール紅茶)の残骸と、新は飲んでるか」と。

しめの車が1台あつた。物理的に近い。男子同士でネットを開けると、そこ！肩を組んで歩くのも日常茶飯事。教員も生徒も明るいので、落ち込んでいたエンジンはなかった。

そんな状態から始まった活動だが、とにかく人が優しい。教員も生徒も思いっきりの笑顔で話しかけてくる。「今日はどんな調子だい」「サール(先生とい

そうに食べていたので1本譲ってもらって、かじってみたら甘くてうまい！そのニンジンをかじっていた生徒たちも大喜び！

「サールは俺たちと同じだ！」「もうサールはネパール人！」。この後は握手攻めや肩を組む、手をなぐなどの歓迎を受けた。気さくに話しかけてくれたが、やはり距離を置いていたのだと思う。その距離がなくなった瞬間だった。学校からの帰り道に1人で感動して泣いた。うれしくて泣いた。この先はぜひ現地に赴き、感動を体験してほしい。改めて言う。この国は本当に素晴らしい。